



2018・9・21

第 318 号

101-0065 東京都千代田区

西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

## 署名広げ安倍首相を迎え撃つ臨時国会に

### 九条の会が記者会見

九条の会は自民党総裁選、その後の臨時国会をめぐる問題について、9月14日、記者会見し以下のアピールを発表しました。この改憲には呼びかけ人・世話人も参加し、それぞれの見解を述べました。

〈九条の会アピール〉

### 9条改憲NO！の巨大な世論の輪を —自民党総裁選・臨時国会を前にして

2018年9月14日

秋の臨時国会を前に、安倍改憲の策動は新たな局面を迎えています。9月20日の総裁選に立候補を表明した安倍晋三首相は、地元下関で8月12日、「自民党として次の国会で提出できるよう（改憲案の）取りまとめを加速する」と述べました。続けて、麻生派が総裁選に向けての政策提言で打ち出した「来年の参議院選挙までの憲法改正国民投票実施」という方針に「基本的に考え方は全く同じ」と述べて、改憲強行に改めて異常な決意を表明しています。対抗馬の石破茂元幹事長も、9条2項削除による

改憲を主張し、緊急事態条項導入などの改憲に意欲を示しています。

9条2項を維持したまま「自衛隊を憲法に明記する」自民党の9条改憲案が、現在の9条を根本から破壊して、日本をアメリカと一緒に海外で「戦争する国」に変えてしまうことを、すでに私たちは繰り返しアピールしてきました。九条の会も参加して昨年9月からスタートした「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」による3000万署名運動は、5月3日時点で1350万筆に達し、その後も3000万を目指して草の根に広がっています。

こうした広範な改憲反対の世論を前にして、自民党は、今年の党大会では9条改憲案を正式に決定できず、通常国会の憲法審査会で改憲案について議論することすらできませんでした。「臨時国会で改憲論議に持ち込み、参院選前に国民投票」という安倍首相らの言説は、こうした世論に対するあからさまな挑戦です。

今、6月の米朝首脳会談等を通じて、アジアの平和実現に向けて大きく前進するチャンスがおとずれています。私たちが、真

に平和を望むのであれば、憲法9条の立場を堅持して、この動きに積極的に参画していくことが求められています。それは、沖縄の辺野古新基地、イージスアショア、オスプレイ配備など、日本をアジアにおける戦争の拠点にするたくらみに対して断固として反対することと深く結びついています。また、核兵器禁止条約の署名とその発効に背を向ける政府の立場を転換させることも、アジアの平和の実現に重要な一歩となるでしょう。

自民党が新たな総裁の下で臨時国会を改憲策動の新たな盛り上げの場にしようとしている今こそ、臨時国会を改憲論議の場に決してさせない、次期通常国会で改憲発議を絶対に許さない、そして来年の参議院選挙では改憲派の3分の2の議席獲得を許さず安倍内閣を退陣に追い込むという意味を固めましょう。それが改憲を阻む最大の保障です。そのために、3000万署名運動の達成を目指して新たな決意で取り組みましょう。

## 呼びかけ人・世話人の発言

### よびかけ人 澤地 久枝

総裁選のニュースを見ている、現在の日本の政治情勢をみている、何となくわれわれが負けているような空気が広がっていると思います。新聞をみても自民党や公明党に応援されている候補の名の字の大きさが違うし、NHKなどでも自民党の候補の名に焦点があてられています。

先日、辺野古の基地反対のアピールの会があったとき、衆議院第2議員会館の入り

口でとめられました。「いつも金子兜太先生の「安倍政治は許さない」というプレートをハンドバックにつけているのですが、「はずせ」というのです。「いけないんですか」といったら「そうです」というので残念ながらハンドバックにしまいました。今日は遅れているので残念ながら出さないままできましたが、私はここまできたかと思っています。安倍政治をどうとらえているかはひとり一人の国民の自由だと思うのです。それが政治的発言だとして、はずすようにいわれたのです。

安倍さんはまた総理大臣になるでしょう。署名運動をやっているだけでもいいのかという気持ちが私の心をよぎります。もつとも効果的方法はないのか。かつては焼身自殺という衝撃的なものもありましたが、それはやってはならない。それは政治的な力にはならない。

この時点では、マスコミの人たちやその他の人たちと九条の会の人たちが手を取りあって、絶対にこの政治は許さないという気持ちになってやっていくしかないと思って今日もやってまいりました。

皆さんのお考えを聞かせてください。

### 世話人 浅倉 むつ子

人間の問題がわかっていない空気がどんどんどんどん強くなってきていると思います。人間のことをわかっていない人たちが政治の中核にすわっていることが政治を暗くしている、と勝手になりません。

女性の立場から申せばセクシャルハラスメントという悪どい行為に端を発して人権を無視するような事態が続出している。

それでも女性の活躍ということを叫んできたのに「働き方改革」ということで高度プロフェッショナルとされる人たちは労働時間規制の適用外にしてしまう。また、「働け、働け」と号令をかける一方で「1人3人まで産め」ということを強要する、そんな世の中です。いったい日本がどういう方向に向かおうとしているのか。そういう人たちがいま、憲法を改悪しようとしている。

自民党総裁選では、党の内部でもしめつけが激しく自由に発言もできないようですが、この後本格的な憲法改正論議になったときにどんな言論抑圧があるのか背筋が寒くなるような気がいたします。

だからこそ、こういう形でものをいっていかねばとアピールを出しました。

#### 世話人 池田 香代子

解釈改憲がおこなわれてから3年になります。そしていまは解釈改憲ではなく本当の改憲だと意気込む方が3期目の自民党総裁選をたたかっています。任期2期だったのを3期にしたのは安倍さんです。独裁者は任期を延長するんです。こんな政党が憲法を変えたらどんな社会になってしまうのか、いまからとても不安です。

総裁選報道をみても両候補を平等に扱うことになっていますが最初の3日間は安倍さんがロシアにゆくというので安倍さんの方の情報は少ししか出てこない、石破さんの報道もそれにあわせて少なくする。NHKのニュースなどではどんなニュースでも枕詞のように安倍さんの名がでてくる。情報公開といっても世論調査などでは媒体によってまったく違う数字が出てくる。

国民投票といいます、これでは健全な民主主義はなりたたないと思います。もとより憲法を変えることには私は反対です。

でも良識は生きています。私も思います。「こんなことはおかしいよね」と思った人たちが声をあげると、私は社会はかわると思っています。

#### 世話人 伊藤 千尋

先だって、住民運動を調べにバルト3国に行ってまいりました。ソ連に武力で踏み込まれました。ところが住民運動で独立を勝ちとったのです。

そのきっかけは、1989年の人間の鎖でした。3つの国の200万人が手をつないで3つの国の首都をつないだ。600キロです。それがきっかけとなってソ連の重圧から切り離された。そうすると日本列島は北から南まで3000キロですから、バルト3国にあてはめると1000万人いれば手をむすんでつなげることができる。われわれすでに1350万人の署名を集めています。1350万は3000万の目標にてらし少なく見えますが、私はものすごい数だと思います。

マスコミの話ですが、3月の朝日のもりかけ公文書改ざんに関する報道によって政権側の勢いががたっと落ちた。マスコミも何もしていないわけではありません。私たちの市民運動とマスコミの歯車をうまくかみあわせていけば憲法を変えさせない運動に先がみえてくると思っています。

全国の9条の碑をまわってきていますが、この5月には18だったのがいま21ある。去年12月に沖縄県の大宜味村でできています。その中心になったのはあの対馬丸にの

っていて6日間海の上を漂流したという経歴のおばあさんです。2度と戦争をしてはならないと村民によびかけたら募金が集まって、役場の中に記念碑をたてることができました。

いま9条がおかしくなろうとしているときに、人びとはたちあがっています。

### 世話人 伊藤 真

いま戦後はじめて現職の総理大臣が憲法を変えようとしている。自民党総裁を選ぶ選挙で、わずかな国民の参加で結果的に総理大臣を選ぶことになる。アメリカでは2年以上の国民的議論で国のリーダーを決めているのに。

安倍さんは「自衛隊員が誇りをもてるよう」に自衛隊を憲法に明記すると言うが、実質的な9条削除だ。たしかに自衛隊を憲法に明記すればかなりの権限を与えてしまう。軍事国防国家に逆戻りする危険はある。

しかしそれ以上に、いま自民党で論議されている9条改憲案では9条2として「国及び国民の安全を保つために必要な自衛の措置をとることを妨げず」という規定がある。国が「国及び国民の安全を保つ」という名目で何でも必要な措置がとれてしまう。それは自衛隊に限られない。たとえば海上保安庁が軍事的な行動をとっても「必要な措置」ならいい。また「国民の安全」だから、軍事に限られず、「食の安全」「エネルギーの安全」などのために国が「必要な措置」をとることができる。もちろんそのために国民の人権を制限することもできる。

国民投票のための運動は個々の企業には運動法が適用されません。それは日本の企

業だけでなく、外国人、外国の軍需産業も参加できる。自由にお金も出せる。規制されるのはテレビ、ラジオのコマーシャルなどで、雑誌新聞の広告などは資金力にものをいわせた活動は自由です。

いまほど運動の力が試されることはない。

### 世話人 清水 雅彦

自民党総裁選をみていると石破さんがまともに見えてしましますが、石破さんが総裁になっても、9条2項を削除する、緊急事態条項を導入するといっており、どっちが勝ってもダメ。どちらかしか選べないというのは自民党の人材不足で国民にとっても悲惨なことがいまおきている。

スケジュール的にいえば改憲は難しいと思いますが、安倍首相は何をするかわからない。それを食い止める力は3000万人署名です。署名を集めながら対話をする、それを大運動にしていく、それが、じわじわと世論づくりの効果があります。

国連総会では、2016年12月に「平和の権利宣言」を採択しました。日本はこれに反対した。アメリカが反対するから同調せざるをえない。日本国憲法は前文で平和的生存権を規定しています。しかし12年に発表した自民党改憲案は前文の平和的生存権などを全部削除しています。9条と前文の両方を訴えていかなければならない。

私も3月2日の朝日の報道で安倍政権は倒れるのでは思いました。残念ながら安倍首相が押し切った。この間の戦争法や秘密保護法もそうですが、安倍首相は一時的に支持率がさがっても何とかなる、そしてこれを繰り返すことによって特に市民に無力

感をいだかせる、何をしても無駄と思わせようとしているのではないか。

そういう意味では、3000万署名にとりくんできた人たちがあきらめてしまったら安倍首相の思うとおりです。ひきつづきががんばっていきましょう。

### 世話人 山内 敏弘

安倍首相は立会演説会などで、「慎重に謙虚に丁寧に政権運営をおこなっていきたい」と述べています。安倍首相が本当にそのように考えているのであれば、次の国会に改憲案を出したいというような発言は撤回していただきたい。憲法審査会での慎重で丁寧な審議にゆだねるといって欲しいです。内閣には憲法改正案の発案権は憲法上も国会法上もないわけです。ところが改憲案の発議を国会がしないのは国会の怠慢だとまでいっている。言っていることと実際にやっていることは矛盾しています。

安倍首相は9条に自衛隊を明記するといひ、一方でそれが国民投票で否決された場合でも政府が自衛隊を合憲としている考え方にもいささかの変更もない、といっています。国民投票で通っても通らなくても現状はいっさい変わらないというのです。

もちろんそんなことはないわけです。かりに安倍9条改憲が通れば、それによって集団的自衛権行使が全面的に認められ戦争する国になりますが、同時に国民生活や人権が非常に大きな影響をうける。

徴兵制や徴用制が合憲とされるだけでなく、現在でも特定秘密保護法があり、いまの憲法のもとでも防衛に関する秘密は保護できるわけですが、自衛隊の軍事行動に

ついてマスコミはほとんど報道できなくなる。取材の自由、報道の自由はほとんどなくなる、そのことは自衛隊の9条改憲と密接に結びつく問題です。

安倍首相は自衛隊員に誇りを、といますが、それは自衛隊員に誇りをもって戦地に行つて死んでももらいたいということです。

朝鮮半島をめぐる状況です。私はこれは9条にとって好機だと思います。これを9条を日本で生かし、国際社会に生かし、アジアに生かしていく、積極的機会として日本もかかわっていく必要があるとおもいます。

### 3000万署名の運動を交流

【富山県／市民アクションとやま】 安倍9条改憲NO！市民アクションとやまは9日、富山市内で「やりぬこう！3000万人署名、9・9県民集会」を開きました。75人が参加し、安倍改憲の野望にとどめを刺そうと署名運動を交流しました。

土井由三共同代表が「安倍首相は次の国会に改憲案を提出するといっている。3000万人署名、沖縄県知事選の勝利で阻止を」とあいさつ、水谷敏彦弁護士が「国内外の政治情勢と改憲論」と題して講演しました。

水谷氏は、安倍首相が新たに書き込もうとしている自衛隊は、専守防衛ではなく海外に出て米軍と一緒に軍事行動する部隊だと指摘。自衛隊合憲という人などとも共同を広げ、安倍首相らの「自衛隊かわいそう」キャンペーンに反撃していくことが重要だと強調しました。

討論では「教え子を戦場に送るなど署名簿を郵送し、地域配布している。今日も砺波で雨のなか600枚配布してきた。組合員

は職場で全員から署名をもらおうと取り組んでいる」(高教組)、「今日までに1万3912人の署名を集めた。紙芝居のパネルを署名と一緒に並べ、戦争に対する思いを書いて患者の目につく場所に掲示した。職員が学習して声をかけると、みんな快く署名してくれた」(医療生協)などの発言が相次ぎました。

集会は最後に「安倍9条改憲阻止へ、署名目標の達成、沖縄県知事選連帯支援を」のアピールを採択しました。総がかり行動実行委員会共同代表の高田健氏、元文部科学省事務次官の前川喜平氏、早稲田大学教授の水島朝徳氏からメッセージが寄せられました。

## メディアの役割を現場記者から

【東京都／千住九条の会等】 9月14日

「千住九条の会」と「東京民医連東部東葛ブロック」主催の「望月衣塑子が語る 国家権力とメディア」を天空劇場にて開催しました。380名の皆様にお越しいただき大盛況でした。望月記者のパワー炸裂で鋭く、ユーモラスなトークに会場内は聴き入り時に爆笑しノンストップで2時間近くお話いただきました。望月記者は権力が隠そうとすることを明るみに出すことを使命として現在活躍中ですが、以前、読売新聞にも合格し迷ったことがあり、その時お父様に相談し「父さんは読売だけはやめてほしい」その一言で東京新聞に入社したとのこと。その後、森友疑惑や準強姦事件などでも菅官房長官と激しいやり取り、切り込みを続けています。メディアの役割とは権力の監視・チェックであり、萎縮してはられない

い、ジャーナリストとしての信念を強く持ち活動を続け、権力と対峙していきたいと発言。そして戦争できる国にしないために共に頑張っていきたいと思います。最後に幣原喜重郎首相の言葉やガンジーの言葉を紹介して講演を終えました。熱く、元気の出る講演会に参加者からは称賛の声が相次ぎました。その日、会場内で集まった署名は21筆、署名用紙を持ち帰ってくれた方もいらっしゃいました。そして、20代前半の男性が「千住九条の会」に入会してくれました。また、中年女性が入会したいとの申し出もあり、カンパも沢山集まりました。引き続き23日に駅頭署名行動、26日には戸別訪問を行います。

安倍9条改憲発議阻止のため全力で頑張ります。(千住九条の会 中田 順子)

## 大相撲の観戦客に署名訴え

【スポーツ9条の会等】 「安保法制廃止をめざすスポーツと体育の会」とスポーツ9条の会は12日、東京都墨田区のJR両国駅周辺で大相撲観戦者に安倍9条改憲に反対する3000万人署名を訴え、宣伝チラシを配布しました。国技館に向かう人たちが次々とチラシを受け取りました。

「戦争させない9条を守る署名に協力してください」との呼びかけに応じてくれる人も多くいました。「安倍さんは心配ですよ。戦争だけは防がないとね」と話して署名してくれる人、近所で話をしたいと署名用紙を数枚持って帰る人もいました。

観戦者の中には外国人観光客が目立ち、宣伝ののぼりや横断幕が注目を浴びていました。